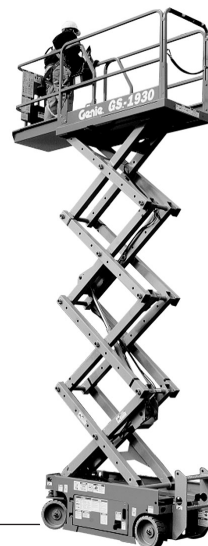


# Genie®



## 操作説明書 メンテナンス情報付属

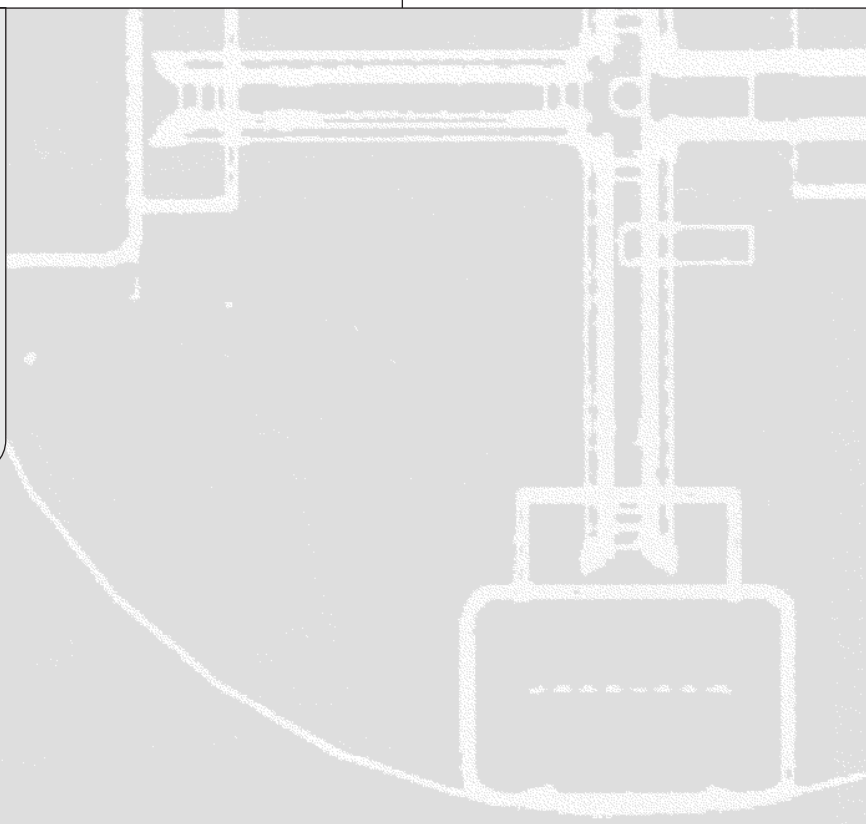
Third Edition  
Third Printing  
Part No. 1000031JA

**GS™-1530**

**GS™-1532**

**GS™-1930**

**GS™-1932**



---

## 重要

機械を操作する前に、操作説明書の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。本説明書を機械の一部とみなし、常に機械と一緒に置いておく必要があります。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

---

## 目次

	ページ
安全規則 .....	1
説明 .....	9
操作 .....	10
操作前の点検 .....	12
メンテナンス .....	14
機能テスト .....	16
作業場の点検 .....	21
操作手順 .....	22
輸送およびリフトの手順 .....	27
ステッカー .....	30
仕様 .....	34

---

## お問合せ先：

インターネット：<http://www.genielift.com>

電子メール：[techpub@genieind.com](mailto:techpub@genieind.com)

---


Copyright © 1997 Genie Industries

初版：第 11 刷 2002 年 1 月

第 2 版：第 3 刷 2004 年 7 月

第 3 版：第 3 刷 2006 年 2 月

「Genie」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。「GS」は Genie Industries の商標です。

 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

# 安全規則



## 危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、重傷または死に至ることがあります。

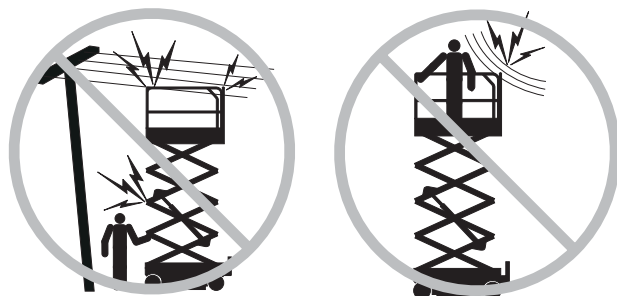
## 操作を行う必須条件：

- 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
  - 1 危険な状態での使用を避ける。  
次のセクションに進む前に、安全規則についてよく理解し、心得てください。
  - 2 常に操作前の点検を行う。
  - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
  - 4 作業場を点検する。
  - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。
- 製品使用説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。
- 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。
- 関連するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。
- 使用者が安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

### 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流に接触したり近づいた場合は電流から保護されません。



適合する法規および次の表に従って、電線や機械から安全な距離を保持してください。

電圧 範囲	安全上の 最短距離 メートル
0~300V	接触を避ける
300V~50KV	3.05
50KV~200KV	4.60
200KV~350KV	6.10
350KV~500KV	7.62
500KV~750KV	10.67
750KV~1000KV	13.72

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

機械が通电している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで絶対に機械に触れたり操作しないでください。

雷や暴風のときは機械を操作しないでください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

### 転倒の危険

作業員、装備、および機材は、作業台または作業台延長の最大積載荷重量を超えてはなりません。

#### 最大積載重量 - GS-1530 および GS-1532

作業台収縮	272 kg
作業台延長 - 作業台のみ	159 kg
作業台延長 - 延長台のみ	113 kg
最大定員 - GS-1530 - ANSI および CSA	2
最大定員 - GS-1532 - Australia	
野外使用	1
屋内使用のみ	2
最大定員 - GS-1530 - Australia	
屋内使用のみ	2



272 kg



延長台のみ 113 kg  
作業台のみ 159 kg

## 安全規則

## 最大積載重量 - GS-1930 および GS-1932

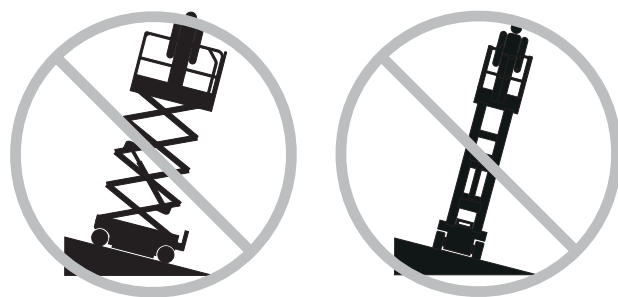
作業台収縮	227 kg
作業台延長 - 作業台のみ	113 kg
作業台延長 - 延長台のみ	113 kg
最大定員 - GS-1930 - ANSI および CSA	2
最大定員 - GS-1932 - Australia	
野外使用	1
屋内使用のみ	2
最大定員 - GS-1930 - Australia	
屋内使用のみ	2



227 kg

延長台のみ 113 kg  
作業台のみ 113 kg

機械がしっかりとした水平な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇しないでください。



傾斜レベルの指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が斜面上にある場合にのみシャーシ内で鳴ります。

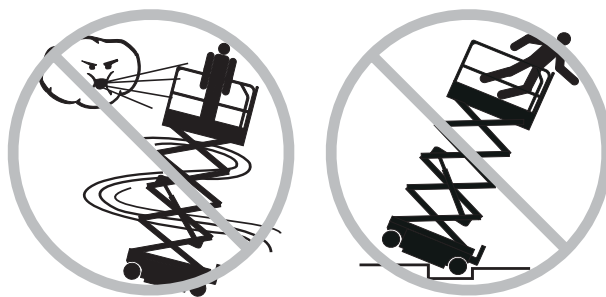
傾斜アラームが鳴った場合：  
作業台を下げてください。機械をしっかりとした水平な地面に移動してください。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらって作業台を下げてください。

リミットスイッチを変更したり、使用不能にしたりしないでください。

作業台を上げたままの状態でも時速 0.7 km 以上で走行しないでください。

風速が秒速 12.5 m を超える場合は作業台を上げないでください。秒速 12.5 m 以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。作業台や積載床面の表面を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。



平らでない不安定な地面やその他の危険な状況では、作業台を上昇させた状態で機械を走行しないでください。

収納した状態で、平らでない、障害物のある、不安定な場所、また滑りやすい場所を通して機械を走行しているとき、あるいはくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

安全規則

機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納位置にある場合に適用されます。

**GS-1530 および GS-1532**

**最大定格勾配 (収納状態)**

ANSI / CSA / AUS 30% (17°)

**最大定格横勾配 (収納状態)**

ANSI / CSA / AUS 30% (17°)

**GS-1930 および GS-1932**

**最大定格勾配 (収納状態)**

ANSI / CSA 30% (17°)  
AUS 25% (14°)

**最大定格横勾配 (収納状態)**

ANSI / CSA 30% (17°)  
AUS 25% (14°)

注記：定格勾配は、地面の状態や牽引摩擦力により異なります。

挟まったり、引っ掛かったり、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。全員の作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に重大にかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。道具を収納するための留め具や他の用具を作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積載床面の表面積を増大させます。

作業台の外にある物体を押ししたり、引っ張ったりしないでください。

**GS-1530 および GS-1930**

**最大側方圧力 -**

ANSI および CSA

2人 445 N

**GS-1532 および GS-1932**

**最大外圧力 - Australia**

2人 400 N

1人 200 N

**GS-1530 および GS-1930**

**最大外圧力 - Australia**

2人 400 N

屋内使用のみ



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。



作業台にはしごや足場を組まないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

移動中または移動する可能性のある表面、もしくはは車両上で機械を使用しないでください。

## 安全規則

タイヤはすべて良好な状態にあり、みぞ付きナットが適切に締められ、コッターピンが適切に設置されていることを確認してください。

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーよりも軽いバッテリーは使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性を維持するために不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ 29.5 kg です。

機械をクレーンとして使用しないでください。

作業台で機械や他の物体を押さないでください。

作業台を近辺の建造物に接触させないでください。

作業台を近辺の建造物につながないでください。

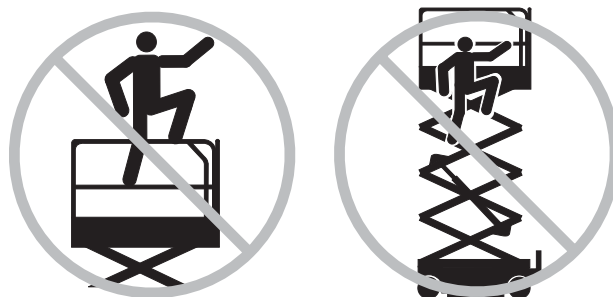
作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

シャーシ台を開けた状態で機械を操作しないでください。

## 落下の危険

手摺りは落下防止用です。もし作業台にいる作業員が作業場規約や従業員規約により落下防止装備 (PFPE) を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使い方は PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従って実施してください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

作業前に作業台に出入口チェーンを取り付け、出入口ゲードを閉めます。

手摺りがしっかりと設置され、出入口がしっかりと閉められるまでは機械を操作しないでください。

## 衝突の危険



走行または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

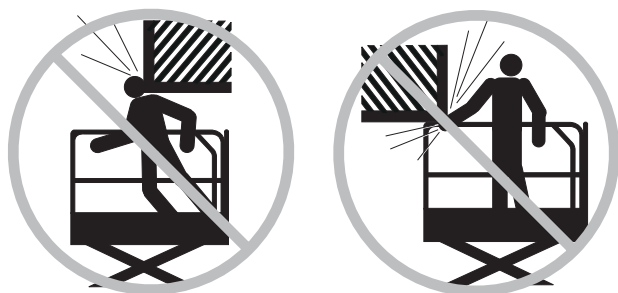
機械を移動する際は延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。

作業員は、安全装備の使用について、従業員と作業場の規則、および適合する法規に従わなければなりません。

## 安全規則

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業台操作の色別方向矢印および走行とステアリング機能用の作業台ステッカープレートをよく見ながら操作してください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。

作業台の下に人がいないこと、および障害物がないことを確かめてから作業台を下げてください。



地面の状態、まわりの混雑具合、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものによって、走行速度を制限してください。

頭上に作動中の機械がある場合、あるいはクレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

## 手のケガの危険

手や腕をシザースに近づけないでください。

安全アームを設置していない状態で、作業台下、またはシザーのリンク部分に作業を行わないでください。

コントローラを使用して地上から機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。オペレータ、機械、固定物との間には安全な距離を保ってください。

## 部品損傷の危険

溶接するときには機械にアースを接地しないでください。

## 爆発と火災の危険



可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

## 故障機械の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書とサービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台の上のマニュアル保管場所に置かれているようにしてください。

## 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に飛び散ったり、やけどを負う原因となります。

カバーされている部品に不適切に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、これらのコンパートメントについては作業前の点検だけを行ってください。機械の操作中、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

## ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および警報言語を使用しています。



安全警報シンボル—作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとに示された全ての安全警告に従ってください。

**▲ DANGER**



赤—差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

**▲ WARNING**



オレンジ—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

**▲ CAUTION**



安全上の警告シンボルを伴った黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

**CAUTION**

安全上の警告シンボルがない黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

**NOTICE**

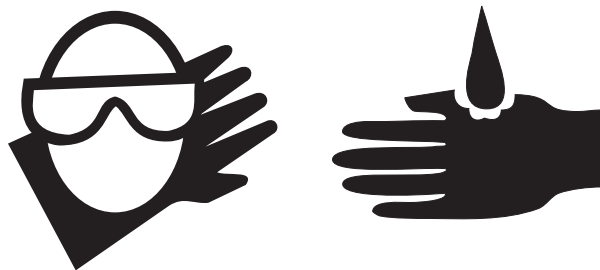
緑—操作またはメンテナンスに関する情報を示します。

## 安全規則

## バッテリーの安全管理

## 熱傷の危険

バッテリーには酸が入っています。バッテリーに作業を行うときは、常に保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

## 爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリートレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開いたままにします。

バッテリー端末またはケーブル留め金に、金属製の工具を接触させないでください。火花を発生するおそれがあります。

## 部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24V 以上の充電器を使用しないでください。

## 感電の危険



充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。指輪、時計などの貴金属をすべて外してください。

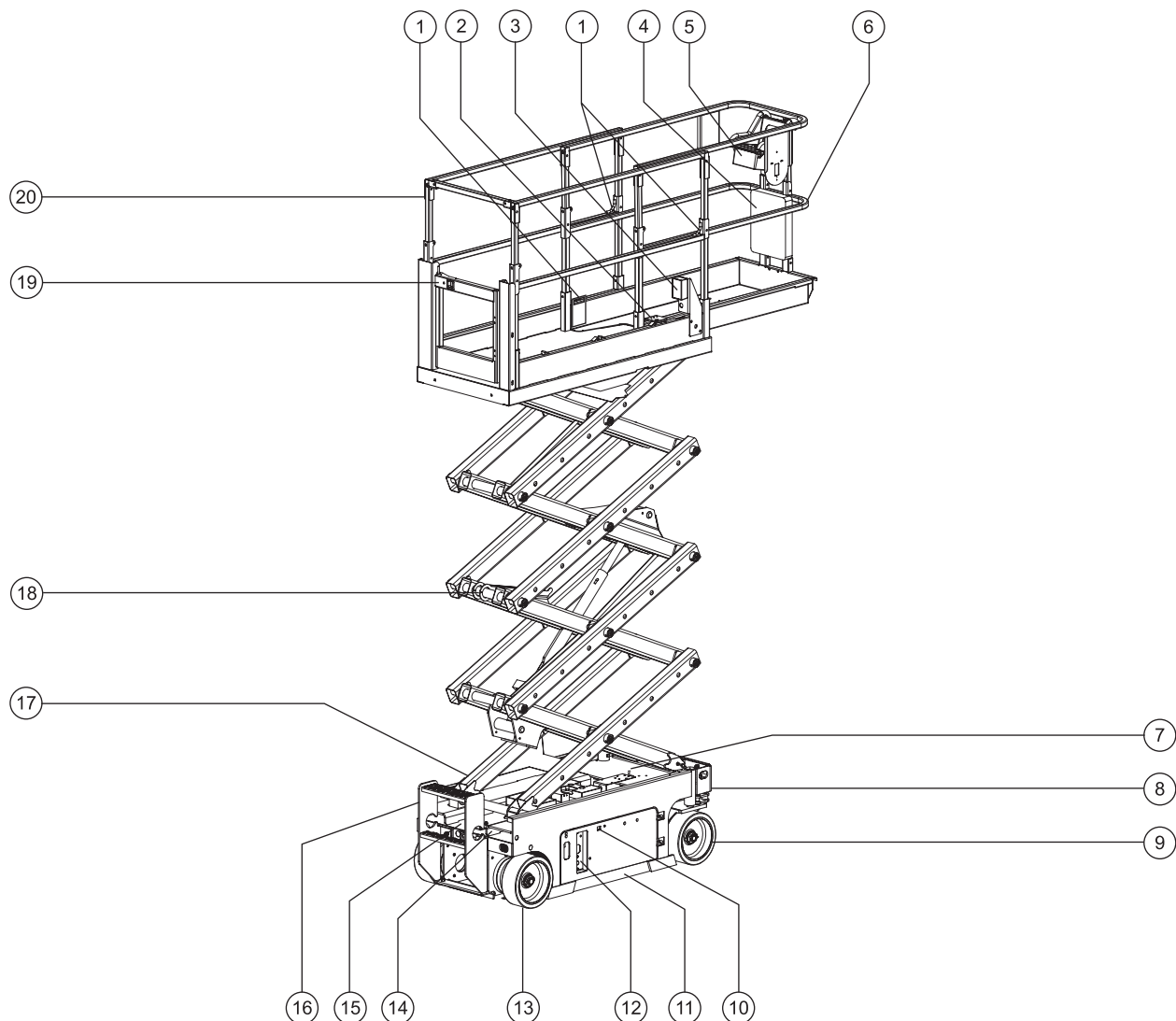
## 転倒の危険

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーは使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性を維持するために不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ 29.5 kg です。

## リフトの危険

バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手で行ってください。

# 説明



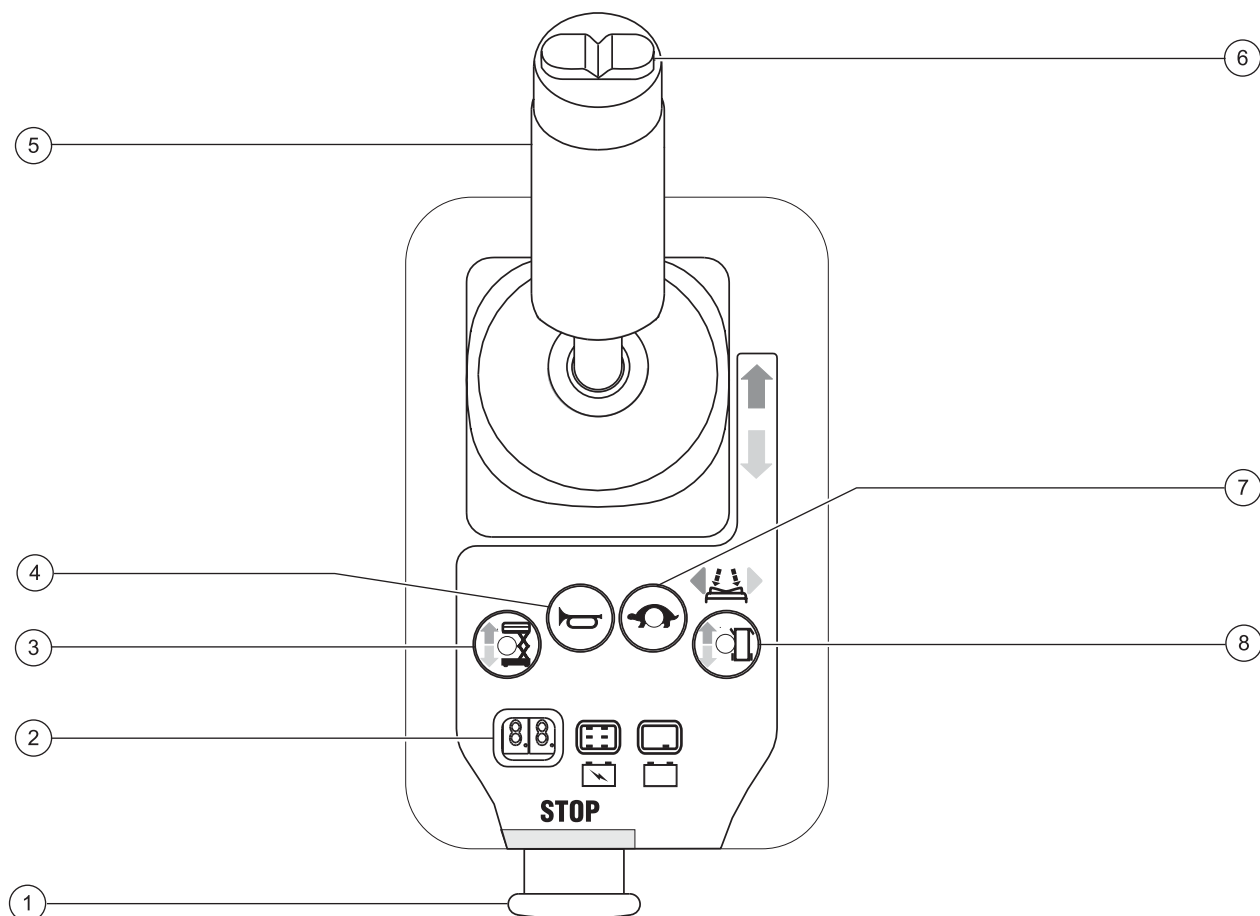
- 1 安全帯固定箇所
- 2 作業台延長解除ペダル
- 3 GFCI コンセント
- 4 マニュアル保管コンテナ
- 5 作業台操作
- 6 作業台延長部
- 7 傾斜アラーム (カバー下)

- 8 輸送用の荷締め
- 9 ステアリングタイヤ
- 10 LED 診断計測値
- 11 ポットホール・ガード
- 12 地上操作
- 13 非ステアリングタイヤ
- 14 補助下降ノブ
- 15 ブレーキ解除ポンプ

- 16 出入口はしご/輸送の荷締め
- 17 バッテリー充電器 (機械の反対側)
- 18 安全アーム
- 19 作業台出入口チェーンまたはゲート
- 20 作業台手摺り



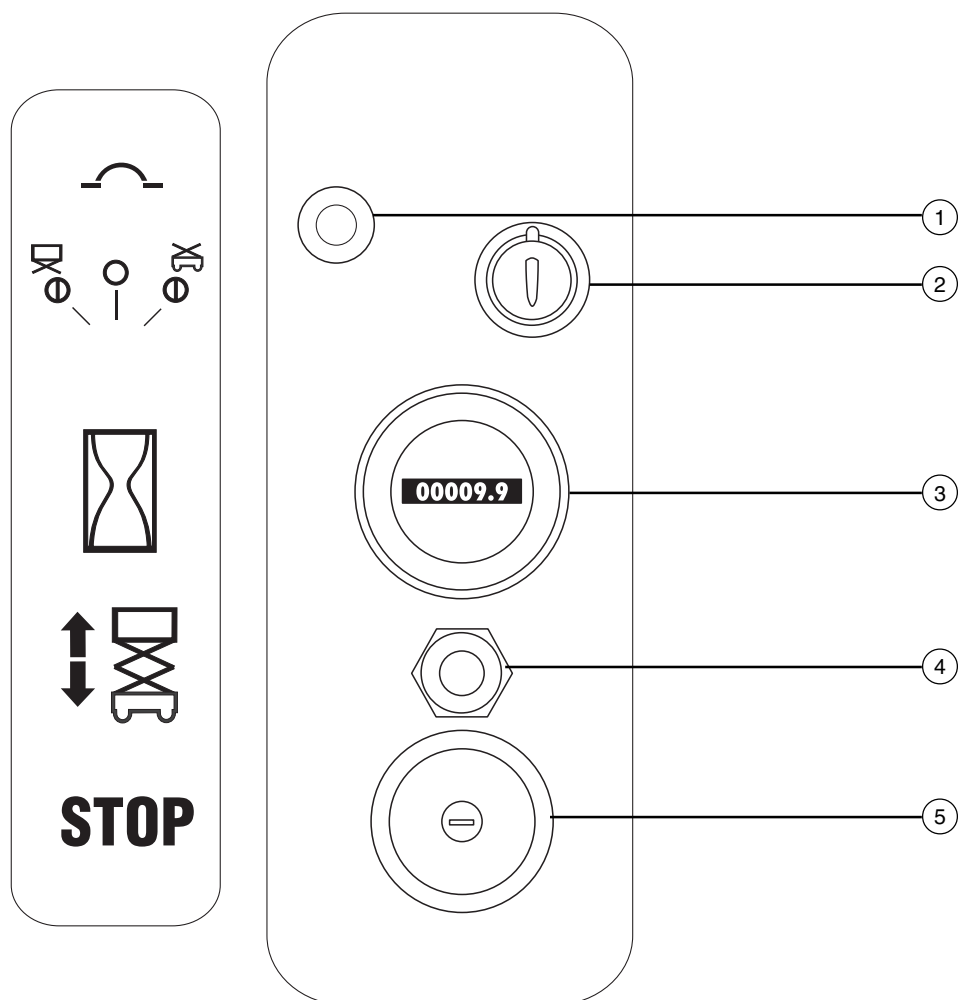
# 操作



## 作業台操作

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 1 赤色非常停止ボタン              | 5 リフト・走行機能用の比例コントロール<br>ハンドルおよび機能作動スイッチ |
| 2 LED 診断計測値 / バッテリー充電表示器 | 6 ステアリング機能用ロッカースイッチ                     |
| 3 リフト機能選択ボタン             | 7 走行速度ボタン                               |
| 4 ホーンボタン                 | 8 走行機能選択ボタン                             |

操作



地上操作パネル

- 1 電気回路用 7A ブレーカー
- 2 作業台/オフ/地上の選択キースイッチ
- 3 時間計
- 4 作業台上下トグルスイッチ
- 5 赤色非常停止ボタン

# 操作前の点検



## 操作を行う必須条件：

本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 原則

操作前の点検と規定のメンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見ても行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定のメンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、この説明書に記載してあるメンテナンス項目のみ行なってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態から何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

## 操作前の点検

## 操作前の点検

- オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認します。
- すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていないか、なくなっている部品がないかチェックします。

- 電気部品、配線、電気ケーブル
- 油圧ユニット、タンク、ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- バッテリーパックと接続部
- 駆動モーター
- 磨耗板
- タイヤとホイール
- アース用ストラップ
- リミットスイッチ、アラームと警報
- ナット、ボルト、他の締め具
- 作業台出入口チェインまたはゲート
- ビーコンとアラーム (搭載する場合)
- ブレーキ解除コンポーネント
- 安全アーム

- ポットホール・ガード
- 作業台延長部
- シザースピンと固定ファスナー
- 作業台操作ジョイスティック

機械全体をとおして下記をチェックします：

- 溶接や機械部品の割れ
- 機械のへこみや損傷
- 機械の腐食やさび
- 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。
- 側面の手摺りが設置され、ボルトが締まっていることを確認します。
- シャーシ台が閉じられ、ラッチで留められ、バッテリーが適切に接続されていることを確認します。

**注記：**機械を点検するために作業台を上昇させる必要がある場合は、必ず安全アームが設置されていることを確認してください。「操作手順」のセクションを参照してください。

# メンテナンス



## 必ず従うこと：

- ☑ オペレータは、この説明書に記載してある通常のメンテナンス項目のみを行います。
- ☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

## メンテナンス記号の説明

### 注意

以下のシンボルは、指示の目的をわかりやすくするために本マニュアルで使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されているシンボルは、次を意味しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

## 作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量に変化がある場合には油圧システムでの問題を早期に見つけることができます。

### 注意

作業台が収縮した状態でこの作業を行ってください。

- 1 油圧タンクのオイル量を目視点検します。
- ② 結果：作動油の量は、タンクに示されているレベルになっている必要があります。
- 2 必要に応じてオイルを追加します。このときに溢れないようにしてください。

## 作動油の仕様

作動油タイプ	Chevron Rykon Premium MV に相当
--------	---------------------------------



## バッテリーの点検



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

### 注意

密封型またはメンテナンス不要のバッテリーを搭載する機械では、この手順は必要ありません。



### 警告

感電の危険 熱くなっている回路やライブ回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの貴金属をすべて外してください。



### 警告

人体への障害の危険 バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

### 注意

このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

- 1 保護服と保護メガネを着用します。
- 2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。
- 3 バッテリー固定バーが適切な位置にしっかりと取り付けられていることを確認します。
- 4 バッテリー通気孔のキャップをとります。
- 5 各バッテリーの酸の量を確認します。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないようにしてください。
- 6 バッテリー通気孔のキャップをつけ直します。

## 定期保守点検

四半期ごと、1年ごと、2年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定された担当者が、本説明書の手順に従って行わなければなりません。

3ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

# 機能テスト



## 操作を行う必須条件：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

- 4 作業場を点検する。
- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、全ての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

## 機能テスト

- 1 テストを行う場所として、障害物がなく、水平で安定している場所を選びます。
- 2 バッテリーパックが接続されていることを確認します。

**地上操作**

- 3 作業台操作と地上操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
- 4 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 5 作業台操作に示される診断 LED の計測値を確認します。

- ◎ 結果：LED は右の図のようになっています。

**非常停止のテスト**

- 6 地上操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。
- ◎ 結果：機能は何も作動しません。
- 7 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

**上昇/下降機能のテスト**

この機械の警告音と標準ホーンはすべて同じ中央アラームから発せられます。ホーンは継続音です。下降アラームは毎分 60 回のビーブ音を鳴らします。ポットホール・ガードが位置についていないことを警告するアラームは、毎分 300 回のビーブ音を発します。機械が水平でないことを警告するアラームは、毎分 600 回のビーブ音を発します。オプションで自動車のクラクションと同様のホーンを搭載することもできます。

- 8 上昇機能を作動します。
- ◎ 結果：作業台が上昇します。
- 9 下降機能を作動します。
- ◎ 結果：作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

**補助下降のテスト**

- 10 上昇機能を作動し、作業台を約 60 cm 上昇させます。
- 11 出入り口はしごの後ろにある補助下降ノブを引きます。
- ◎ 結果：作業台が下降します。下降アラームは鳴りません。
- 12 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

**作業台操作****非常停止のテスト**

- 13 作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。
- ◎ 結果：機能は何も作動しません。

## 機能テスト

**警報のテスト**

14 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

15 警報ボタンを押します。

◎ 結果：警報が鳴ります。

**機能作動スイッチのテスト**

16 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押さないでください。

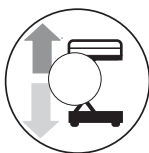
17 コントロールハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

◎ 結果：機能は何も作動しません。

**上昇/下降機能のテスト**

18 リフト機能選択ボタンを押します。

19 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。



20 コントロールハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かします。

◎ 結果：作業台が上昇します。ポットホール・ガードが位置につきます。

21 コントロールハンドルを離します。

◎ 結果：作業台の上昇が止まります。

22 機能作動スイッチを押したままにします。コントロールハンドルを黄色の矢印の方向へゆっくりと動かします。

◎ 結果：作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

**ステアリングのテスト**

注記：ステアリングと走行機能テストを実施する際、作業台上で機械のステアリング側に向かって立ってください。

23 走行機能選択スイッチを押します。

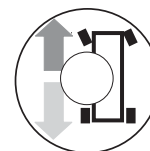
24 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

25 コントロールハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げます。

◎ 結果：ステアリングホイールが操作パネル上の青い三角が示す方向に回ります。

26 ロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げます。

◎ 結果：ステアリングホイールが操作パネル上の黄色い三角が示す方向に回ります。



## 機能テスト

**走行とブレーキのテスト**

- 27 機能作動スイッチを押したままにします。
- 28 コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。
- ◎ 結果：機械が操作パネルの青い矢印の方向に動き、急停止します。
- 29 コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。
- ◎ 結果：機械が操作パネルの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

**傾斜センサーのテスト**

- 注記：このテストは地上から作業台操作で行ってください。作業台には立たないでください。
- 30 作業台を完全に下げます。
- 31 木片を機械片側の2つのタイヤの下に置き、タイヤがその木片の上のるように機械を走行させます。
- 32 作業台を地上約2.1 mまで上げます。
- ◎ 結果：作業台の上昇が止まり、傾斜アラームが毎分600回のピープ音を鳴らします。
- 33 走行コントロールハンドルを青い矢印の方向に動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。
- ◎ 結果：走行機能はどちらの方向にも作動しません。
- 34 作業台を下げ、両方の木片を取り除きます。

## 機能テスト

**走行制限速度のテスト**

- 35 リフト機能選択ボタンを押します。
- 36 機能作動スイッチを押したままにします。  
作業台を地上約 1.2 m まで上げます。
- ◎ 結果：ポットホール・ガードが位置につきます。
- 37 走行機能選択スイッチを押します。
- 38 機能作動スイッチを押したままにします。  
コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。
- ◎ 結果：作業台が上昇した状態での最大走行速度は秒速 20 cm を越えてはいけません。

作業台を上げたままの状態の走行速度が秒速 20 cm を越える場合は、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

**ポットホール・ガードのテスト**

注記：作業台が上昇するとポットホール・ガードが自動的に位置につきます。ポットホール・ガードが別のリミットスイッチを作動させ、機械は引き続き機能します。ポットホール・ガードが位置につかないときはアラームが鳴り、機械は走行しません。

- 39 作業台を上昇させます。
- ◎ 結果：作業台が地上約 1.2 m に上がると、ポットホール・ガードが位置につきます。
- 40 片側のポットホール・ガードを押し、その後もう一方を押します。
- ◎ 結果：ポットホール・ガードは動きません。
- 41 作業台を下げます。
- ◎ 結果：ポットホール・ガードが閉じた状態になります。
- 42 ポットホール・ガードの下に木片を置きます。  
作業台を上昇させます。
- ◎ 結果：作業台が地上 2.1 m まで上がる前に、アラームが鳴り走行機能は動作しません。
- 43 作業台を下げ、木片を取り除きます。

# 作業場の点検



## 操作を行う必須条件：

本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 常に操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。
- 4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前にオペレータによって行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険を避けてください。

## 作業場の点検

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- ・ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ・ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ・ 傾斜面
- ・ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ・ 頭上の障害物、高圧送電線
- ・ 危険な場所
- ・ 機械の重量に耐えられない地面
- ・ 風や天候の状態
- ・ 関係作業員以外の人物の存在
- ・ その他、起こる可能性のある危険な状態

# 操作手順



## 操作を行う必須条件：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
  - 1 危険な状態での使用を避ける。
  - 2 常に操作前の点検を行う。
  - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
  - 4 作業場を点検する。
  - 5 **決められた用途にのみ機械を使用する。**

## 原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を各機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことはオペレータの任務です。

人員や工具、機材を高所作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則や、操作説明書や安全と責任に関するマニュアルの手順に、すべて従わなければなりません。すなわちオペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。



## 操作手順

**非常停止**

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止します。

非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は修理する必要があります。

**補助下降**

- 1 補助下降ノブを引きます。

**地上からの操作**

- 1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
- 3 機械の操作を始める前にバッテリーパックが接続されていることを確認します。

**作業台を位置につける**

- 1 操作パネルのマークに従って、トグルスイッチを上下に動かします。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

**作業台からの操作**

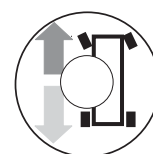
- 1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。
- 2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
- 3 機械の操作前にバッテリーパックが接続されていることを確認します。

**作業台を位置につける**

- 1 リフト機能選択ボタンを押します。
- 2 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。
- 3 操作パネルのマークにしたがってコントロールハンドルを動かします。

**ステアリング**

- 1 走行機能選択ボタンを押します。
- 2 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。
- 3 コントロールハンドルの上部にあるロッカースイッチでステアリングホイールを回します。

**走行**

- 1 走行機能選択ボタンを押します。
- 2 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。
- 3 速度を上げる：コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。  
速度を下げる：コントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。  
停止：コントロールハンドルを中心に戻すか、または、機能作動スイッチを放します。

作業台操作と作業台の色別された方向矢印を見ながら、機械の進む方向を確認してください。

作業台が上がった状態では走行スピードが制限されています。

バッテリーの状態は機械の性能に影響します。バッテリーレベル表示器が点滅している場合は、機械の走行速度と機能速度が下がります。

操作手順

**走行速度の減速**

走行コントロールでは、2つの異なる走行速度モードで操作することができます。走行速度ボタンのランプが点灯している場合は、低速走行モードになっています。ボタンのランプが消えている場合は、高速走行モードになっています。



走行速度ボタンを押して、任意の走行速度を選択します。

**傾斜面における走行**

機械に対する縦傾斜および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



**GS-1530 および GS-1532**

**最大定格勾配 (収納位置)**

ANSI / CSA / AUS 30% (17°)



**最大定格横勾配 (収納位置)**

ANSI / CSA / AUS 30% (17°)



**GS-1930 および GS-1932**

**最大定格勾配 (収納位置)**

ANSI / CSA 30% (17°)  
AUS 25% (14°)



**最大定格横勾配 (収納位置)**

ANSI / CSA 30% (17°)  
AUS 25% (14°)

注記：定格勾配は、地面の状態や牽引摩擦力により異なります。

走行速度ボタンを押して、走行速度モードを高速にします。

**傾斜勾配の判断：**

デジタル傾斜計を使用するか、または次の手順を使用して傾斜を測定します。

以下の道具が必要です：

レベル (水準器)

最低 1 m の長さの真っ直ぐな木片

巻尺

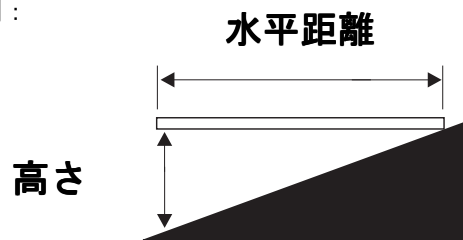
傾斜面の上に木片を置きます。

下り坂の下がった方の端で、木片の端に合わせてその上にレベル (水準器) を置いた後、木片が水平になるまで木片を持ち上げます。

木片を平行に保っている間に、木片の下部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離 (高さ) を木片の長さ (水平距離) で割り算した後、その数値に100を掛け算します。

例：



水平距離 = 3.6 m

高さ = 0.3 m

$$0.3 \text{ m} \div 3.6 \text{ m} = 0.083 \times 100 = 8.3\%$$

傾斜または横傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械をウインチで巻き上げるかまたは傾斜部を上方向に輸送する必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

## エラー表示



LED 診断がLLなどのエラーコードを表示している場合は、赤色非常停止ボタンを押し、その後ボタンを引いてシステムをリセットしてください。

## 作業台の延長と収納

- 1 作業台の踏み板にある作業台延長解除ペダルを踏みます。
- 2 作業台手摺りを持ってゆっくりと押し、作業台を中央停止位置まで延長します。
- 3 再び解除ペダルを踏んで作業台が完全に延長されるまで押します。

作業台を延長している時は、作業台の延長部分に立たないでください。

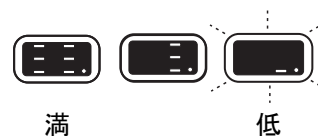
- 4 作業台延長解除ペダルを踏んで引き、作業台を中央停止位置まで収納します。もう一度踏んで作業台を完全に収納します。

## コントローラを使った地上からの操作

オペレータ、機械、固定物の間は、安全な距離を保ってください。

コントローラを使って操作する場合は、機械が走行する方向に注意してください。

## バッテリーレベル表示器



LED 診断を使用して、バッテリーレベルを確認します。

## 落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規約や従業員規約で義務付けられている場合、以下が適用されます。

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、製品の使用説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

## 使用後の注意

- 1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選びます。
- 2 作業台を下げます。
- 3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外します。
- 4 輪止めをかまします。
- 5 バッテリーを充電します。

## 安全アームの使用方法

- 1 作業台を地上から約 2.4 m 上昇させます。
- 2 安全アームを機械から離れるように回して、下にぶらさがっている状態にします。
- 3 安全アームがリンク部分にしっかりとるまで作業台を下げます。作業台をさげている時は、安全アームに近づかないでください。

## 操作手順



## バッテリーと充電器の操作手順

### 必ず従うこと：

- 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

## バッテリーの充電

- 1 充電前にバッテリーが接続されていることを確認してください。
- 2 バッテリーのコンパートメントを開けます。コンパートメントは充電中ずっと開けた状態にしておきます。

### メンテナンス不要のバッテリー

- 3 接地されている AC 回路に充電器を接続します。
- 4 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

### 標準のバッテリー

- 3 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じてプレートがかくれる程度に蒸留水を入れます。充電の前には入れすぎないでください。
- 4 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。
- 5 接地されている AC 回路に充電器を接続します。
- 6 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。
- 7 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないようにしてください。

## 乾式バッテリーの液注入と充電の手順

- 1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り外します。
- 2 それぞれのセルにプレートがかくれるのに十分な程度のバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液が溢れることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

- 3 バッテリー通気孔のキャップをつけます。
- 4 バッテリーを充電します。
- 5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに溢れないようにしてください。

# 輸送およびリフトの手順



## 必ず従うこと：

- ☑ クレーンやフォークリフトで機械を持ち上げる時は、常識的な判断と手順をもって機械の動きを制御してください。
- ☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せる際は、動かないよう輸送車両を固定してください。
- ☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。
- ☑ ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。
- ☑ 定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。「傾斜面における走行」の操作手順のセクションを参照してください。
- ☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

## ブレーキ解除操作



- 1 機械が動かないよう輪止めをかまします。
- 2 シャーシの荷締め個所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。
- 3 黒いブレーキ解除ノブを押してブレーキ弁を開きます。
- 4 赤いブレーキ解除ポンプノブを押します。

機械を載せた後：

- 1 機械が動かないよう輪止めをかまします。
- 2 走行機能選択ボタンを押します。コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロールハンドルを中心の位置から動かして、ブレーキをリセットします。

Genie GS-1530、GS-1930、GS-1532  
および GS-1932 の牽引は推奨されていません。  
機械を牽引する必要がある場合は、時速 3.2 km  
を越えないでください。

輸送およびリフトの手順



**必ず従うこと：**

- ☑ 認定されているリガーのみを使用して、リギングおよびリフトを行ってください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやラインが機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。シリアルラベルを参照してください。

重心	X 軸	Y 軸
GS-1530	65.3 cm	59.6 cm
GS-1532	49.8 cm	47.2 cm
GS-1930	64.8 cm	56.1 cm
GS-1932	50.8 cm	49.5 cm

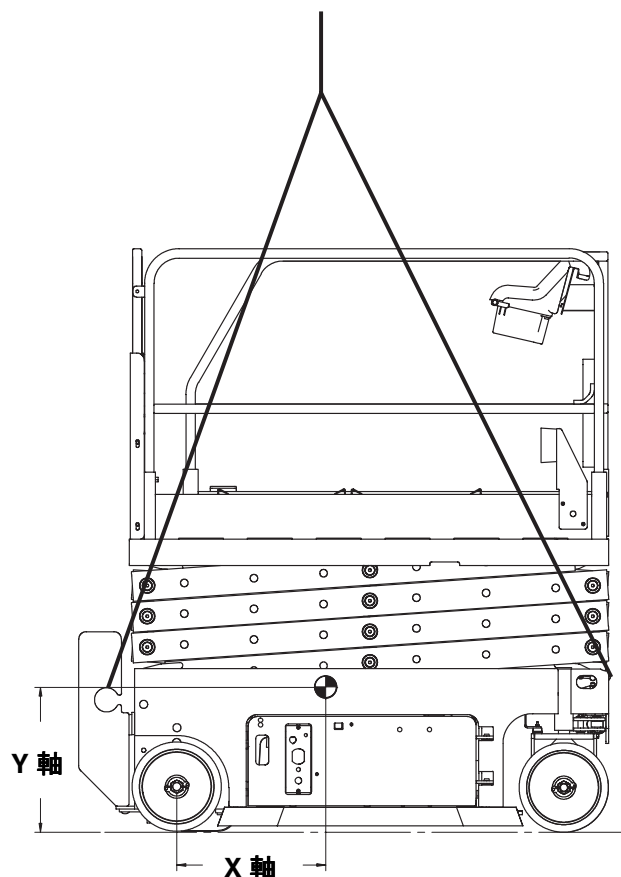
**リフトの手順**

作業台を完全に下げます。延長デッキ、操作および部品トレイがしっかりと固定された状態であることを確認してください。機械に緩んでいる箇所がないことを確認してください。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

指定されている機械の吊り上げ点にのみリギングを取り付けます。リフト用として機械の前面とはしごに直径 2.5 cm の穴が 2 個ずつ用意されています。

機械への損傷を防ぎ、機械の水平状態を保つためにリギングを調節してください。



## 輸送およびリフトの手順

## 輸送用トラックあるいは トレーラーへの固定

機械を輸送する際は、必ず延長デッキロックを使用してください。

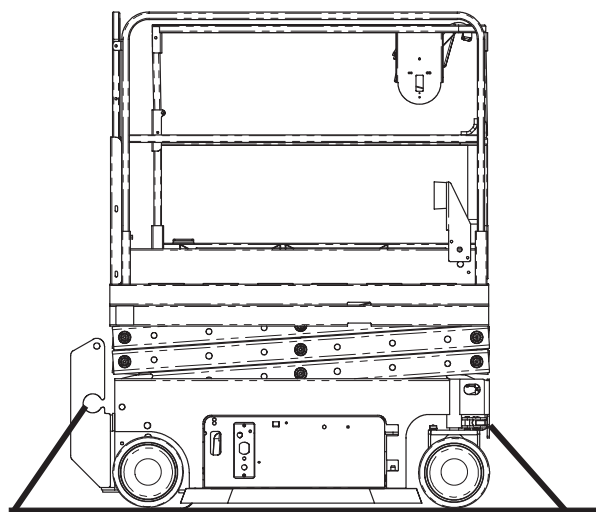
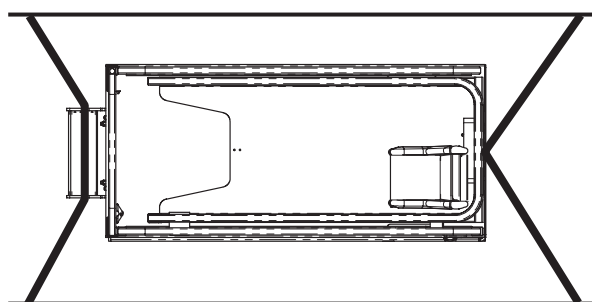
輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えるものを使用してください。

最低でも 2 組のチェーン、またはストラップを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、リギングを調節してください。



# ステッカー

## 警告用語のついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Description	Quantity
28164	Notice - Hazardous Materials	1
28171	Label - No Smoking	1
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Caution - Compartment Access	1
28176	Notice - Missing Manuals	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28236	Warning - Failure To Read . . .	1
31060	Danger - Do Not Alter Limit Switch	1
31508	Notice - Power to Battery Charger	1
40434	Label - Lanyard Anchorage	3
43089	Notice - Operating Instructions, Ground	1
43093	Notice - Tire Specification	4
43617	Danger - Tip-over (batteries)	1
43618	Label - Directional Arrows	2
43619	Label - Safety Arm	1
43658	Label - Power to Charger, 230V	1
43696	Danger - Electrocution Hazard	2
44255	Danger - Crushing Hazard	4
44736	Danger - Tilt Alarm	1
44737	Danger - Tip-over, Trays Open	2
44753	Label - LED Diagnostic Readout	1
44980	Label - Power to Charger, 115V	1
44981	Label - Air to Platform, 110 PSI	2
46262	Danger - Battery/Charger Safety	1
52475	Label - Transport Tie-down	5
62053	Cosmetic - Genie GS-1530	2
62054	Cosmetic - Genie GS-1930	2
65052	Label - ECM Fault Codes	1
72143	Label - Emergency Stop	1
72853	Danger - Improper Use Hazard	1

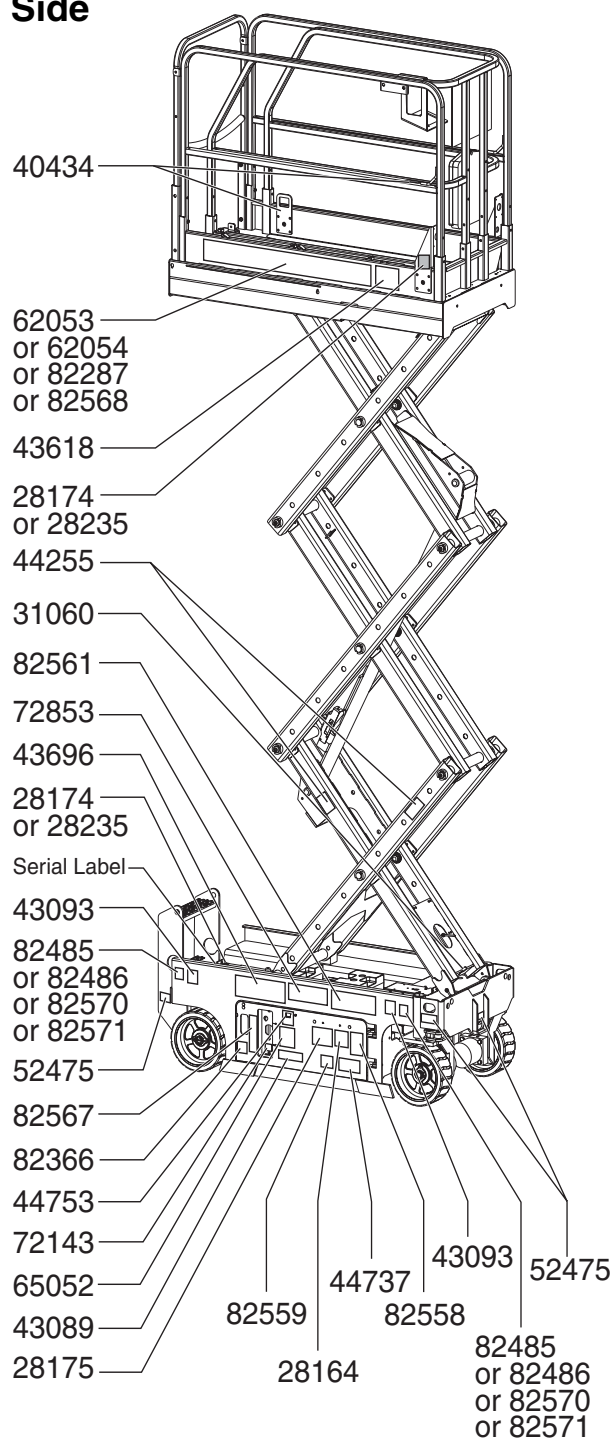
Part No.	Description	Quantity
72970	Notice - Battery Charger Operating Instructions	1
82287	Cosmetic - Genie GS-1932	2
82366	Label - Chevron Rykon	1
82447	Label - Auxiliary Lowering	1
82485	Label - Wheel Load, GS-1530	4
82486	Label - Wheel Load, GS-1930	4
82557	Label - Platform Controls Location	1
82558	Warning - Skin Injection Hazard	1
82559	Notice - Annual Inspection	1
82561	Danger - Crushing Hazard	2
82563	Notice - Max Cap 500 lbs / 227 kg*	1
82564	Notice - Max Cap 600 lbs / 272 kg*	1
82565	Notice - Side Force, 100 lbs / 445 N, ANSI & CSA	1
82566	Notice - Manual Force, 200 / 400 N Australia	1
82567	Ground Control Panel	1
82568	Cosmetic - Genie GS-1532	2
82570	Label - Wheel Load, GS-1532	4
82571	Label - Wheel Load, GS-1932	4
82657	Notice - Battery Connection Diagram	1
97618	Notice - Manual Force, 400 N, Indoor Use Only, Australia	1
97712	Danger/Notice - Brake Release Safety & Operating Instructions	1
97772	Platform Control Panel	1
1000041	Notice - Operating Instructions, Platform	1
1000042	Danger - General Safety Rules	1

\*Please reference the chart on page 2 to determine the capacity of your machine.

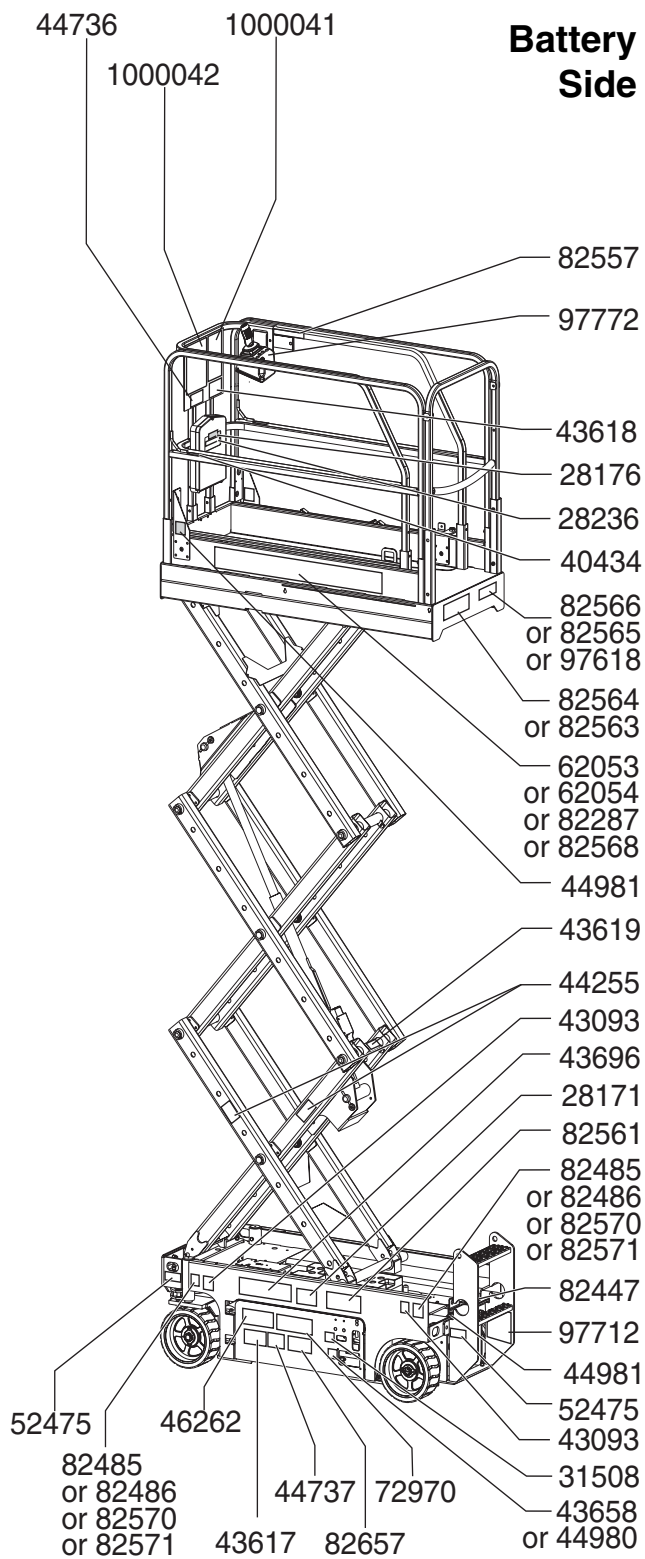


ステッカー

**Ground Controls Side**



**Battery Side**



ステッカー

## シンボルのついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

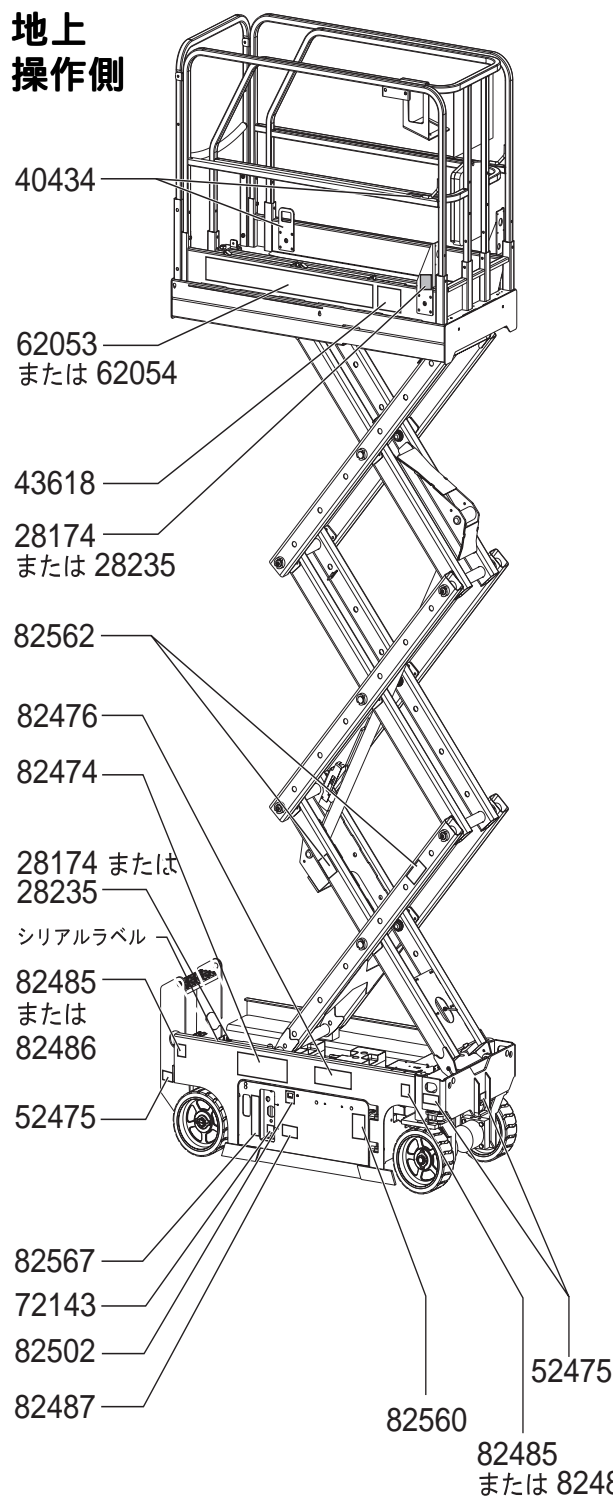
品番	記述内容	数量
28174	ラベル - 作業台への電力 230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力 115V	2
40434	ラベル - 安全帯の固定箇所	3
43618	ラベル - 方向矢印	2
43658	ラベル - 充電器への電力 230V	1
44980	ラベル - 充電器への電力 115V	1
44981	ラベル - 作業台へのエア、7.8 bar	2
52475	ラベル - 輸送用の荷締め	5
62053	外装 - Genie GS-1530	2
62054	外装 - Genie GS-1930	2
72143	ラベル - 非常停止	1
82287	外装 - GS-1932	2
82472	警告 - 手のケガの危険	1
82474	警告 - 安全輪止め	2
82476	危険 - 感電の危険	2
82481	危険 - バッテリー/充電器の安全	1

品番	記述内容	数量
82482	ラベル - 補助下降	1
82485	ラベル - 輪荷重, GS-1530	4
82486	ラベル - 輪荷重, GS-1930	4
82487	注意 - 操作手順	2
82495	危険 - ブレーキ解除安全および 操作手順	1
82496	危険 - 最大積載量 227 kg*	1
82501	危険 - 最大積載量 272 kg*	1
82502	ラベル - LED 診断	1
82560	警告 - 皮膚への噴射の危険	1
82562	危険 - 落下の危険	4
82567	地上操作パネル	1
82656	危険 - 外圧力 445 N	1
97719	ラベル - 安全アーム	1
97772	作業台操作パネル	1

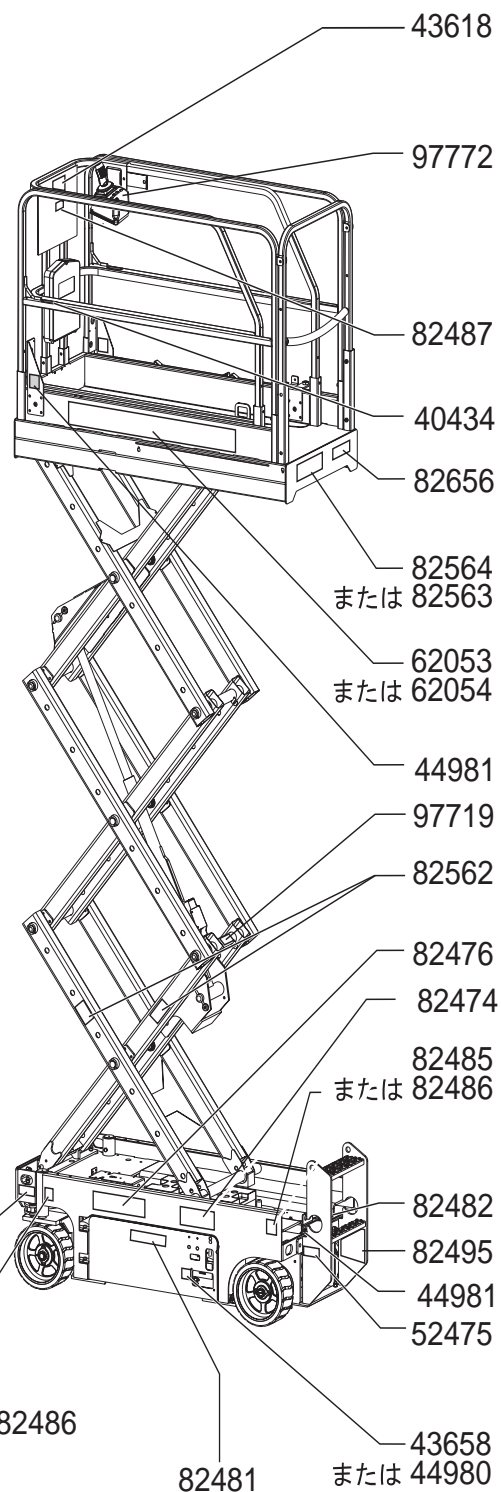
\*2 ページの表を参照して、ご使用の機械の最大積載荷重量を確認してください。

ステッカー

地上  
操作側



バッテリー側



# 仕様

<b>モデル</b>	<b>GS-1530</b>
高さ、操作時最大	6.4 m
高さ、作業台最大	4.6 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態	1.96 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを下げた状態	1.92 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りなし	97 cm
高さ、手摺り	99.1 cm
幅	76.2 cm
奥行き、作業台収納時	1.82 m
奥行き、作業台延長時	2.73 m
最大積載荷重	272 kg
最大風速	秒速12.5 m
ホイールベース	1.32 m
旋回半径 (外径)	1.55 m
旋回半径 (内径)	0 cm
地上クリアランス	6.1 cm
地上クリアランス ポットホール・ガード展開	1.9 cm
重量	シリアルラベルを参照 (機械の重量は、オプション構成により異なります)
電源	バッテリー x 4, 6V 225AH
システム電圧	24V
コントロール	比重
作業台寸法, (奥行き x 幅)	1.6 m x 74 cm
作業台延長部奥行き	90.4 cm
作業台 AC コンセント	標準

最大油圧力 (機能)	241 バール
タイヤサイズ	12 x 4.5 x 8 インチ
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量 (A特性騒音レベル)	<70 dB
<b>最大定格勾配、 収納位置</b>	30% (17°)
<b>最大定格横勾配、 収納位置</b>	30% (17°)
注記：定格勾配は、地面の状態や牽引摩擦力により異なります。	
<b>走行速度</b>	
収納時、最大	時速 4.0 km
作業台 上昇時、最大	時速 0.8 km 12.5 m/55 秒
<b>床荷重</b>	
最大輪荷重 ANSI/CSA AUS	533 kg 547 kg
タイヤ接地圧 ANSI/CSA AUS	9.19 kg/cm <sup>2</sup> 900 kPa 9.40 kg/cm <sup>2</sup> 921 kPa
車体使用面積当りの圧力 ANSI/CSA AUS	1162 kg/m <sup>2</sup> 11.40 kPa 1216 kg/m <sup>2</sup> 11.92 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため、製品の仕様は予告なく変更することがあります。



## 仕様

モデル	GS-1930
高さ、操作時最大	7.6 m
高さ、作業台最大	5.8 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態	1.99 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを下げた状態	1.95 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りなし	1.0 m
高さ、手摺り	99.1 cm
幅	76.2 cm
奥行き、作業台収納時	1.82 m
奥行き、作業台延長時	2.73 m
最大積載荷重	227 kg
最大風速	秒速12.5 m
ホイールベース	1.32 m
旋回半径 (外径)	1.55 m
旋回半径 (内径)	0 cm
地上クリアランス	6.1 cm
地上クリアランス ポットホール・ガード展開	1.9 cm
重量	シリアルラベルを参照 (機械の重量は、オプション構成により異なります)
電源	バッテリー x 4, 6V 225AH
システム電圧	24V
コントロール	比重
作業台寸法、 (奥行き x 幅)	1.6 m x 74 cm
作業台延長部奥行き	90.4 cm
作業台 AC コンセント	標準

最大油圧力 (機能)	241 バール
---------------	---------

タイヤサイズ	12 x 4.5 x 8 インチ
--------	------------------

機械による騒音 標準的な作業場での最大音量 (A特性騒音レベル)	<70 dB
-------------------------------------	--------

**最大定格勾配、収納位置**

ANSI/CSA	30% (17°)
AUS	25% (14°)

**最大定格横勾配、収納位置**

ANSI/CSA	30% (17°)
AUS	25% (14°)

注記：定格勾配は、地面の状態や牽引摩擦力により異なります。

**走行速度**

収納時、最大	時速 4.0 km
--------	-----------

作業台 上昇時、最大	時速 0.8 km 12.5 m/55 秒
---------------	--------------------------

**床荷重**

最大輪荷重	
ANSI/CSA	591 kg
AUS	600 kg

タイヤ接地圧	
ANSI/CSA	10.18 kg/cm <sup>2</sup> 998 kPa
AUS	10.35 kg/cm <sup>2</sup> 1014 kPa

車体使用面積当りの圧力	
ANSI/CSA	1172 kg/m <sup>2</sup> 11.50 kPa
AUS	1391 kg/m <sup>2</sup> 13.65 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため、製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

<b>モデル</b>	<b>GS-1532</b>
高さ、操作時最大	6.4 m
高さ、作業台最大	4.6 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態	2.02 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを折りたたんだ状態	1.73 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りなし	97 cm
高さ、手摺り	1.1 m
幅	81.3 cm
奥行き、作業台収納時	1.82 m
奥行き、作業台延長時	2.73 m
最大積載荷重	272 kg
最大風速	秒速12.5 m
ホイールベース	1.32 m
旋回半径 (外径)	1.55 m
旋回半径 (内径)	0 cm
地上クリアランス	6.1 cm
地上クリアランス ポットホール・ガード展開	1.9 cm
重量	シリアルラベルを参照 (機械の重量は、オプション構成により異なります)
電源	バッテリー x 4, 6V 225AH
システム電圧	24V
コントロール	比重

作業台寸法, (奥行き x 幅)	1.6 m x 74 cm
作業台延長部奥行き	90.4 cm
作業台 AC コンセント	標準
最大油圧力 (機能)	241 バール
タイヤサイズ	12 x 4.5 x 8 インチ
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量 (A特性騒音レベル)	<70 dB
<b>最大定格勾配、 収納位置</b>	30% (17°)
<b>最大定格横勾配、 収納位置</b>	30% (17°)
注記：定格勾配は、地面の状態や牽引摩擦力により異なります。	
<b>走行速度</b>	
収納時、最大	時速 4.0 km
作業台 上昇時、最大	時速 0.8 km 12.5 m/55 秒
<b>床荷重</b>	
最大輪荷重	547 kg
タイヤ接地圧	9.43 kg/cm <sup>2</sup> 924 kPa
車体使用面積当りの圧力	1142 kg/m <sup>2</sup> 11.20 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため、製品の仕様は予告なく変更することがあります。



## 仕様

<b>モデル</b>	<b>GS-1932</b>
高さ、操作時最大	7.6 m
高さ、作業台最大	5.8 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態	2.11 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを折りたたんだ状態	1.76 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りなし	1.0 m
高さ、手摺り	99.1 cm
幅	81.3 cm
奥行き、作業台収納時	1.82 m
奥行き、作業台延長時	2.73 m
最大積載荷重	227 kg
最大風速	秒速12.5 m
ホイールベース	1.32 m
旋回半径 (外径)	1.55 m
旋回半径 (内径)	0 cm
地上クリアランス	6.1 cm
地上クリアランス ポットホール・ガード展開	1.9 cm
重量	シリアルラベルを参照 (機械の重量は、オプション構成により異なります)
電源	バッテリー x 4、6V 225AH
システム電圧	24V
コントロール	比重

作業台寸法、 (奥行き x 幅)	1.6 m x 74 cm
作業台延長部奥行き	90.4 cm
作業台 AC コンセント	標準
最大油圧力 (機能)	241 バール
タイヤサイズ	12 x 4.5 x 8 インチ
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量 (A特性騒音レベル)	70 dB
<b>最大定格勾配、 収納位置</b>	25% (14°)
<b>最大定格横勾配、 収納位置</b>	25% (14°)
注記：定格勾配は、地面の状態や牽引摩擦力により異なります。	
<b>走行速度</b>	
収納時、最大	時速 4.0 km
作業台 上昇時、最大	時速 0.8 km 12.5 m/55 秒
<b>床荷重表</b>	
最大輪荷重	600 kg
タイヤ接地圧	10.35 kg/cm <sup>2</sup> 1014 kPa
車体使用面積当りの圧力	1313 kg/m <sup>2</sup> 12.88 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため、製品の仕様は予告なく変更することがあります。

